

# 深い信仰と祈りの歴史に触れて～SLEY 福音大会出席

SLEY(フィンランド福音ルーテル協会)の福音大会に出席された徳弘事務局長からレポートを頂きました。



SLEYの福音大会に招待され、6月22日より7月3日までフィンランドを訪問しました。

夏至祭りでもあるヨハネの日の休暇の時期で、湖畔のコテージの集会を訪ねました。白夜で夜も明るく美しい森と湖を見ながら、賛美し、祈り、聖書研究やメッセージを聞き、お茶を飲み、おしゃべりを楽しみ、サウナに入り、湖に飛び込む……、そんな自然な信仰者たちの仲間に入れて頂きました。

本部で宣教師派遣や受入れについて再確認し、アルコール依存者施設も訪問しました。トゥルクのオーボアカデミーを訪問し、神学の歴史や深さに触れました。宣教師候補者たちとも懇談し、将来を感じました。

イルシタロの福音大会は、街の広場をメイン会場にし、種々の集会が開かれます。SLEY年次総会を覗き、子

どもや青年の集会でメッセージをし、礼拝で15000人の聖餐式の奉仕、派遣式のメッセージなどをしました。元宣教師の方々とも嬉しい再会をしました。湖畔のコテージでは初期宣教師ミンキネン氏の娘ナンニさん(88歳)にもお会いしました。「まあ、夢のようね、こんにちは！」と、急遽ご自宅に招かれ、ご飯を炊き夕食をご馳走になりながら、日本語で思い出を沢山語って下さいました。

日本伝道は一番歴史も長く人々の愛着や祈りが大きいことを感じましたが、大会ではアフリカ諸国が難民もおり、イスラム教の中のルーテル教会ということで、注目されていました。宣教協力により、JELCも教会成長させられ、ともに世界宣教を担えるように祈られます。

(徳弘浩隆)



## 風によって

### アワーミッションレポート まきばの家

2007年1月24日、社会福祉法人デンマーク牧場福祉会(静岡県袋井市)では、児童養護施設「まきばの家」の竣工式を執り行い、多くの関係者が集い、喜びを共にしました。この竣工式と共に行われたのが、ある像の除幕式でした。それは、新しく建てられた施設の門前に、訪れる人を出迎えるように設置された「はばたけ 風によって」というタイトルがつけられた少女の像でした。

2004年9月、同じ敷地にある施設「子どもの家」に入所されていた吉田美花さんが亡くなられ、ご両親は深い悲しみのうちにおかれまして。そのような中、ご両親のもとにはコーラス仲間であった友人から「こんな詩がある。慰めになれば」と送られて来たのが「千の風になって」という外国の詩を翻訳したものでした(まだ、同名の歌が流行する前のことです)。この詩にたいへん慰められたと吉田さんは振り返ります。また、「大地」(子どもの家の機関誌)の特集号に、子どもの家の仲間から美花さんへのお別れの言葉が書いてあり、葬式のときにも要約したものを施設長の松田さんに読んでもらいました。「参列者は『いい仲間がいる施設だね』と涙してくれた」と吉田さんは語ります。

その後、美花さんが愛した施設に何かをしたいと思うようになり、施設長である松田氏に相談をしました。そして、施設への寄付と共に記念に残る像を建てることになりました。像のイメージは、「風と少女」でした。

ご両親は像を建てるために、彫刻家を探しました。そんな時、合唱の合宿のために何度か訪れたことのある埼玉県にある青年の家に印象に残る少女の像があったことを思い出しました。その施設を訪問して作者が「サイトウカオル」という名前であることがわかり——施設に問い合わせてもわからないということで——インターネットでその作者を

探しました。しかし、いくら検索しても、それらしい人物はわかりません。それでも、その方に像を彫ってほしいと思いを強くした吉田さん夫妻は、小さな情報も逃さないように、自宅の台所にあるホワイトボードに作者の名前を書いたメモを貼っておきました。「ある日、たまたま訪れた近所に住む息子の嫁が、そのメモを見て『これは私の高校の同級生の父親で、元高校の美術の先生ではないか』と言った」と吉田さんは当時を振り返ります。早速、その友人に電話をし、探し求めていた作者齋藤馨先生を見つけ、事情を説明すると齋藤先生は快く制作を引き受けてくれました。先生の数多くの作品は偶然「少女と風」が主テーマで、それがとても素晴らしいと思ったご両親は「施設を飛び立つ子どもたちを支えるイメージを」と伝え、齋藤先生は鳩を支えて飛び立たせる構図を考えてくれました。



「千の風になって」という詩の言葉に慰められ、また像の題字を書いた村山朝偉先生(古代文字書家として有名)をはじめ多くの人々との出会いを通して作られた少女の像は、その手の中の小さな「いのち」をやさしく押し出しながら、まきばの家の入り口で訪れる人を迎えています。

教会で娘がジュースを飲んでいました。そこへ年下の友達が出て、隣に何も言わず、じつと立っていました。大人たちが「ジュースをわけてあげなさい」と言います。娘は聞こえないふりしてました。お友達は何も言わずに立っています。そのまま沈黙の時間は過ぎていきました。

その様子を見て可笑しくなりました。何も言わないお友達のことを思いついて、まわりの大人たちは「わけてあげたら」と言うのです。しかし、娘には絶対に分けない理由があるのです。初めて自分のこずかいで買ったジュースだったのですから。

2007年  
8月  
No.716

る  
う  
て  
る

■発行所■  
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町1-1  
電話 03-3260-8631

日本福音ルーテル教会事務局広報室

■振替口座■  
00190-7-71734  
■ウェブサイト■  
<http://www.jelc.or.jp>  
■E-mail■  
jelc@jelc.or.jp  
■発行人■  
佐藤 和宏 koho01@jelc.or.jp  
■印刷人■  
精文堂印刷株式会社(定価1部40円)

## CONTENTS

目次

- 1 | 宣教会議 2007  
アワーミッションレポート「まきばの家」  
『ダイヤモンドもただの石』
- 2 | 牧師の声・信徒の声  
東洋と西洋の対話⑤
- 3 | 信仰の学び、養いを生涯続ける⑤  
神学生寮の思い出  
クリスチャンのライフカレンダー  
LAOS 講座
- 4 | 教会音楽祭  
聖書フォーラム  
第14回 宣教フォーラム  
人事異動続報  
インフォメーション  
世界献金進捗状況、他

### 福音版

- 1 | バイブルメッセージ  
ありのままに
- 2 | 大人を育てる絵本からのメッセージ  
HeQi Art 聖書物語  
たろこま「いのちを語る」



(柿のたね)

# 教会の宝石を捜して

東教区 むさしの教会 信徒

はるよ 春代  
ふくやま 福山



百歳おめでとうございませう。福山さんは福山猛牧師(1901~87)夫人として長くルーテル教会を支え守ってきただけでなく、お隣に「長男夫婦が住んでおられますが、今でもお一人で生活なさっております。長く飯能集会の中心メ

## 牧師の声・信徒の声

子供たちをわたしのところに来させなさい。妨げはならない。神の国はこのような者たちのものである。はっきり言っておく。子供のように入れば、決してそこに入ることはできない(ルカによる福音書 18章16~17節)

は間もなく6歳の女の子を頭に、4歳、2歳の男の子の3人の孫たちに囲まれて、幼い子どもたちは私の生活においては、なくてはならない、いて当たり前前の、いつも一緒に生きている存在となつています。

いて来たかなと思えるぐらいの変化はありますが、昨日までのままここに生活していたかのような錯覚に陥るほど、この子どもたちが今ここにいることがごく自然に見えますから不思議です。

そんな生活の中で、このごろは冒頭に掲げました聖句がますます身にしみよくなつて来ましたが、同時に、たいぶ前に総武線の電車で遭遇したある光景がいつも甦つて来ます。おとなしく座席に座つていた姉妹と思われる幼い子ども2人ちょうど幼稚園児ぐらいです。次の駅が私の目的地でしたが、走行中の電車の中、突然この幼い子どもが、危機迫る悲痛な声で「ママー」「ママー」と叫びだしたのです。母親らしい人は近くにおりませんでした。間もなく叫び続ける幼子のもとに駅員の方がやつて来ましたが、ちょうどその時に電車は駅に到着しました。あいた扉の前で、振り返つて子どもたちの様子を見ていました。そのま

ま扉が閉まる前に電車を降りたのです。気にかかる出来事として私の心にも残つています。今私はこの幼子たちを神の祝福の前に置くとはどういうことなのかを問われています。

### 子供たちをわたしのところに来させなさい

ルカによる福音書 18章 16~17節

東教区 飯田教会 牧師  
おおみや みつたか  
大宮 陸孝



### 私の愛唱聖句

<牧師の声>

ンバーでもあらわれて、そのユーモア溢れるお話は年齢を感じさせません。本日はぜひ長寿の秘訣を伺いたしたいと思います。

そうですね。別に自分で歳を取りたくてこの歳になつたわけではないのですが……。私がかけてあげることがいくつありますか？

あとやはり、毎週礼拝に来て、牧師先生の説教を聴くことです。最近耳が遠くなりまして、教会にも毎週というわけにはまいりませんが、この頃は息子が車で連れてきてくれます。

それが健康にいいと思えます。あと、時々バナナがいいんです。繊維質があつて、バナナのこととは昔、近所の薬剤師が教えてくれました。

先生の声はあの説教台の上からはよく聞こえるのですが、降りると聞こえなくなるのはなぜでしょうか。礼拝に来ると、どんなに悲しくふさいだ気持ちでも、帰る時には楽な気持ちになります。イエスさまが重荷を引き受けてくださいますから。礼拝に来ることが出来る恵みを本当に強く感じます。

百歳を記念して、この羊の安眠枕を教文館で求めてきました。どうか教会からの記念品としてお受け取りください。神

3月11日の礼拝後にお祝いの時を持ちました。途中、教員から頂いたお祝いの句をしつかりとした声で二つ披露してくださいました。そのごまでも柔軟で開かれた対話を楽しむお姿は私たちの鏡です。羊のハーブ入り安眠枕も喜んでいただきました。

さまの祝福をお祈りいたします。ありがとうございます。私のような者のためにこのように皆さんでお祝いでいただいていた本当に嬉しゅうございました。

## 第5回 私達は困窮する世界のために祈ります(教会の祈り)。

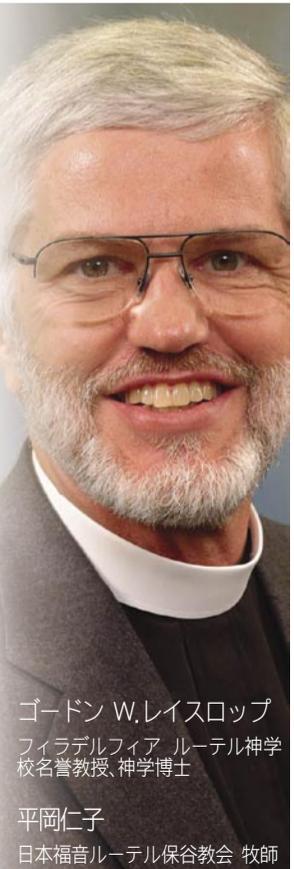
「願いと祈りと執り成しと感謝とをすべての人々のためにささげなさい」(テモテへの手紙一2章1節)



東洋と西洋の対話  
ルーテル教会の礼拝

**平岡(以下「平」)**：私達は祈ります。祈りは分裂した世界、そして人々を御心によって繋ぎ合わせます。  
**Lathrop(以下「L」)**：キリスト者は自分のためだけでなく他者のために祈ります。古くからキリスト教礼拝が持つ特徴の一つは、集められた共同体が一つとなり世界のために共に祈ることでした。一貧困・病苦・死に瀕している人々のために、世界と様々な場所で働くリーダー達のために、戦場と化した国々のために、社会の片隅で苦しむ名もなき人々のために、被造物とその命のために、全ての教会と一致のために、そして敵対する者達のためにさえ。キリスト者は平和、正義、癒し、赦し、そして和解を求め祈ります。この時、礼拝に集められた人々はキリスト者が祈りに覚えるその人々に代わり、神の御前に立ちます。そしてまさにこの仕方において、キリスト者の集まりは、「全信徒祭司性」であるのです。(1ペテロ2：9)  
**平**：創造の秩序の転倒は、男と女の自由で対等な

関係を呪いのもとにある主従関係へと変えてしまいました。しかし、キリストの愛の秩序によって再創造された女と男は、今、再び神の御前に等しく立ち、祭司として共にとりなしの祈りをささげます。  
**L**：礼拝式順に於いて、私達は神の言葉を聞き神の言葉を歌った後、とりなしの祈りを祈ります。神の言葉は神の約束を告げます。一とりなしの祈りは他者のためにその約束を求めます。神の言葉は私達に信仰をもたらす、私達をキリストの体とします。一とりなしの祈りに於いて、私達は他の人々に代わり私達の信仰を神に立ち返らせ、愛によって仕える共同体を困窮する世界に向けて方向転換します。  
**平**：人間は愛の関係を失い、力による支配と不正な搾取に苦しみます。しかし私達が困窮した世界を覚え祈る時、神の正義と平和、和解と赦しは、今ここに実現してゆくのです。



ゴードン W.レイスロップ  
フィラデルフィア ルーテル神学校  
名誉教授、神学博士  
平岡仁子  
日本福音ルーテル保谷教会 牧師

# 信仰の学び、養いを生涯続ける

## 第5回

### 生まれる前から、死んだ後まで

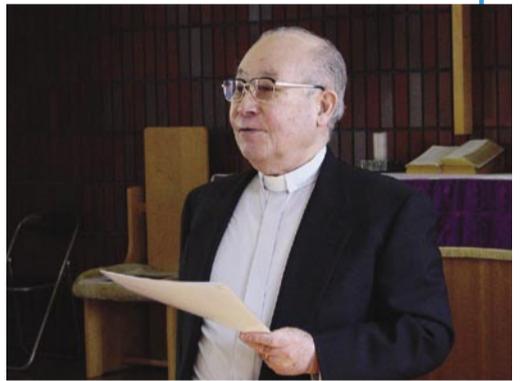
今年の3月末から4月の初めにかけて、日本福音ルーテル教会のドイツにおける姉妹教会であるブラウンシュヴァイク福音ルーテル教会からヴェーバー監督(ビショップ)が私たちの教会を公式訪問なさいました。私は4月1日の東京教会における説教の通訳を務めました、その記念にと監督がなさった「教理問答説教」シリーズの本を二冊いただきました。それをきつかけにして始まった会話の中で私は、昨年神学校の講義でルターの教理問答の背景や、現代における意味と課題について取り上げ、今年「るつてる」に1年間、「現代における教理問答」のコラムを連載するとお話しして、互いに大いに共鳴しあつたのです。

帰国後に監督はさらに数冊、この関連のご自身の説教集を送ってくださいました。現代のドイツでも日本でも、信仰の中心に関わる事柄

と、それに従って生きる信仰の生活について繰り返し説教することが説教者の課題のひとつであることを互いに確認もし、また分かち合いもしたのです。

ルターは宗教改革形成期の1526年に、ドイツ語の礼拝のために『ドイツミサと礼拝の順序』を著わしますが、礼拝が若者に対してもつている意味を説いて、「素朴で簡潔で平易なよい教理問答が必要である。教理問答はそれによってキリスト者になろうとする者がキリスト教について信じ、行い、控え、知らなければならぬことを教え導く教育のことである」と書き、説教によつても、家庭においても若者の信仰教育の必要性と重要性を強調しました。

そればかりではありません。宗教改革がどうなるかという危機に直面した1523年3月、急遽身の危険も顧みずにワルトブルクからウィテンベルクに帰還して行った8日間の連続説教の冒頭では、死に



ルーテル学院大学・神学校名誉教授 徳善 義和

徳善 義和

臨んで人はただ独り、という一面を指摘した上で、「そのときには各人が、キリスト者であれば求められる信仰の主要条項を十分に知って、準備ができていなければならない」とも言います。つまり信仰の教育は一生続くものだと言いたいのです。

そうです。信仰の教育こそ「ゆりかごから墓場まで」なのです。長寿の一生が大勢の人のものとなった現代、赤ちゃんからお年寄りまで、それぞれの信仰と生活に即した信仰の教育が、計画的にも、その時々にも、教会で試みられなければならないでしょう。教会の切実な課題です。

# 神学生寮の思い出

今から思い起こせば、私は36年前の1971年に、日本ルーテル神学校に入学し、そこで4年間で、牧師になるための必要な学びをルーサー寮での共同生活を通して、与えられました。当時の寮は、1969年に旧・日本ルーテル神学大学が東京・中野区鷺宮から三鷹キャンパスに移転したばかりの真新しい、4階建のルーサー寮であります。大学の卒業式を終えた後、3月末だったと思いますが、僅かばかりの引越し荷物を運ぶために、実家の熱海から母を車の横に乗せて、約3時間、厚木か

ら八王子を経て、三鷹のキャンパスに行きました。すでに一年間のギリシャ語の聴講で通り、入学試験で前に来ていた場所であったとしても、引越し荷物を寮の部屋に運びながら、あらためて、これから4年間、神学教育の研鑽と寮の共同生活する神学校の建物がいかに豪壮な建物であるかを実感しました。

そして、牧師になって、5年を過ぎた頃、遣わされた教会での会堂建築に携わった時に、この神学校の建物を設計した村野藤吾という建築家は、文化勲を受章し、当時、丹下健三と共

に日本を代表する有名な建築家の一人であったことを知らされました。さらに、この村野藤吾氏は若い建築家に、「小さいことをやりなさい」と言ったそうです。また、彼は、「便所と階段ができたなら一応、大工として1人前になる。それから手が慣れてくる。みんな初めからこれをやる。その階

東海教区長 静岡教会牧師 青田 勇



～最期のときを迎えて～

昨日は揃って病室へ来て、私の病気の進み具合と今後の見通しについて本当のことを話してくれてありがとう。予想以上に悪く、残された時間に限りがあると知らされ、さすがのお父さんも一晩眠れなかった。様々なことを考え、ほとんどパニック。涙も出てしまった。ふだん偉そうでも、いざとなると弱いものだね。

朝になってやっと詩編を読んだ。いつしか詩人たちの絞り出すような苦悩の声に私の思いが重なり、彼らの希望が私の心にも沁み込んできた。「お委ねしよう」そう思えるようになった。けどこれからもきっと揺り戻しは来、ジタバタもするだろう。でも、「それでもいいよ」とイエスさまは仰ってくださいましたよ。

一つだけ頼みがある。もはやこれ以上の治療は無駄だと判断したら、延命のための過剰な治療はしないでほしい。でも、痛みだけは抑えてほしい。安楽死など望まない。召されるその時まで精一杯心豊かに生きたいのだ。お母さんを支えてあげてください。父より

私自身、単立キリスト教会から、日キの教会へと導かれました。ルター研究所の設立に招かれ、ルーテル神大の公開講座で学ぶ機会が与えられました。これは一重に一人の先輩の姉妹の導きでした。「恵みのみ」「信仰のみ」による信仰義認の教えを学びました。

そして今、LAOS 講座。神の民として、神様に招かれ、祝福を受け、神様の御愛と、牧師を通して神様からのみことばを頂き、祈り、讃美をします。

聖餐式には、イエス様御自身の犠牲のパンとぶどう酒を、私達一人ひとりの信徒に分け与えてくださり、神の民として身体で新しく覚えてゆきます。この神の民一人ひとりが聖霊の賜物を受け、宣教の真の担い手として、みことばと行いによって主に仕え、教会の中で、また外で賜っている恵みは、奉仕と証しをしていくことにあると、学んでいます。

この神の御愛を隣人に宣べ伝えていけるよう、頂いている賜物をもって信仰生活ができるようにと祈っています。



LAOS講座を学びつつ  
市ヶ谷教会 前山貴史子

※執筆によるLAOS講座は jela TV で御覧いただけます。  
URL http://jela.tv/

### ■募金活動にご協力下さい■

従来から寮棟を『ルターホール』と名称を変え大改修します。この事業にご理解いただき、ぜひとも募金にご賛同、ご協力をお願いいたします。

募集期間 2007年4月～2009年3月  
送金先 学校法人 ルーテル学院  
取扱機関 郵便振替口座 00140-2171183  
(所定の郵便振替用紙をご利用下さい)  
銀行口座 三菱東京UFJ銀行三鷹支店  
普通口座 4126089  
名 義 学校法人 ルーテル学院

【お問い合わせ】  
ルーテル学院大学・神学校後援会 (0422-31-4611)  
教会事務局 (03-3260-8631)

